＜様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書＞

【活動の主題】　「祇王っ子☆本だいすきプロジェクト」進行中！

野洲市立祇王小学校

１　本校の概要

本校は、児童数４３４名の中規模校である。学校教育目標を「夢いっぱい 元気いっぱい 笑顔いっぱいの祇王っ子」とし、大人も子どもも「明日もがんばろう！楽しみ！」と思える学校づくりに取組む。「かんがえる子・たくましい子・やさしい子」をめざし、昨年度より特に、自ら考え学ぶ力の向上に力を入れている。その土台となる「こどばを増やす」ための読書活動に重点を置き、様々な取組を進めてきた。市学校司書モデル校に指定され２年目となるが、学校司書との連携を図り、本に親しむ子や学校図書館利用数アップに挑戦中である。読書活動を柱に、地域や家庭を巻き込みながら、地域の宝である祇王っ子を粘り強く育んでいる。

２　取り組んだ内容

（1）読書貯金通帳

一人ひとりに読書貯金通帳をつくり、読んだ本の記録やおすすめ度を記入し貯めていく取組である。たくさん読んで記録がたまっていくことを楽しみにしている様子が見られる。

（2）朝読１０分タイム

毎朝１０分間の読書タイムを帯でとり、少しの時間でも本に浸り、落ち着いて１時間目がスタートできるようにしている。

（3）読み聞かせ☆ひまわり隊

地域学校協働活動推進員が中心となり、地域のサポーターによる朝の読み聞かせを実施している。全学年で行い、子どもたちも楽しみにし、絵本に浸っている。

（4）うち読フライディ

毎週末に図書室で本を借り、家庭で親子読書を進める取組である。購入させていただいた魅力ある様々なジャンルの図書を楽しみに、本を選ぶ姿が見られる。

（5）参観日の親子図書室開放

参観日の休み時間に「親子図書室開放」を実施し、図書室にお家の人を連れてきて、一緒に本を読んだり、本を紹介したりする取組が好評である。

（6）５、６年生の図書委員会による幼小連携

学校司書の助言を仰ぎながら、図書委員会が近隣の園児に読み聞かせをしにいく活動を進めている。

３　活動の成果

「本だいすきプロジェクト」を強く進めるために、様々な取組を考え実行してきた。今年度は特に、家庭や地域を巻き込む読書活動の推進に力を入れた。その結果、読書に関する児童アンケートでは８０％の肯定回答を得た。また、学校図書館利用者数も少しずつ増えている。さらに、購入させていただいた魅力ある様々なジャンルの図書が好評で、今年度始めた「うち読」や「親子図書室開放」にも繋がるよい影響が広がっている。読み聞かせひまわり隊による朝の読み聞かせは、子どもも大人も楽しみな時間となり、地域ぐるみのコミュニティ・スクールの取組も少しずつ定着しつつある。今後も、粘り強く取組を進め、子どもの自ら考え学ぶ力の向上に挑戦していきたい。

本を読んだあとは「読書貯金通帳」に記録します。どんどん貯まってうれしいです。

毎日「朝読１０分タイム」をしています。本にどっぷりと浸る時間を大切にします。

わくわくする図書も増え、学校図書館盛況。週末は「うち読」のための本貸出数増加。

参観日「親子図書室開放」は、休み時間にお家の人に本を紹介したり一緒に読んだり…。

「読み聞かせ☆ひまわり隊」による朝の読み聞かせ。子どもたちも楽しみにしています。

図書委員会による園児への読み聞かせ。どんな本がいいかな？と選ぶのも楽しいです。